

季刊マーメイド

逗子市立図書館報
第8号
2019年12月改訂
逗子市立図書館
逗子市逗子4-2-10
046(871)5998
(電話案内サービス)

ながえさくらやまこふんぐん 逗子の遺跡① 長柄桜山古墳群

前方後円墳の発見

長柄桜山古墳群とは、逗子市と葉山町の境界線上の桜山丘陵に立地する2基の前方後円墳からなるものです。



西から見た第1号墳の全景

平成11年3月、この場所は携帯電話のアンテナ建設工事が予

定されており、伐採、整地が行われていました。葉山町在住の考古学愛好家の東家洋之助(とうやゆうのすけ)氏が埴輪の破片を発見し、現地調査によって大型の前方後円墳であることが確認されました。それから程なく、西へ約500m離れた場所でも同規模の前方後円墳が発見されました。発見された順に1号墳、2号墳と名づけられました。墳長90m前後の2基の古墳は、県内で現存する古墳としては最大級の規模で、古墳時代前期後半の4世紀末の築造と考えられます。

関東地方の歴史を知る上で大変価値のあるこの古墳群は、平成14年12月19日付で国の史跡に指定されました。

2 基の古墳について

	1号墳	2号墳
全長	91.3m	88m
後円部径	52.4m	54m
前方部長	38.9m	34m
前方部幅	33.0m	45m
くびれ部幅	24.2m	32m
墳頂差比高差	3.4m	1.89m
段築	後円部 3 前方部 2	不明
葺石	無	有
埴輪	円筒・壺形	円筒・壺形

この表は2基の古墳の概要を示すものです。墳長差比高差とは、前方部と後円部の高さの差のことでです。1号墳は埋葬施設がある後円部がより高く造られている

ます。1号墳はくびれがあり細長く、2号墳は寸胴で幅広い形です。段築とは古墳の周りを階段状にしたもの、葺石とは瓦を葺くように置いたこぶし大の石のことで、共に装飾的要素を持つものです。1号墳には2号墳のように葺石はありませんが、白色化した泥岩層で造られており、白く輝いて見えたと考えられます。埴輪については、壺形と、円筒形が共存していることが特徴的です。



出土した円筒埴輪

山の尾根に築造されているため、低地や海からも、装飾が施さ

れた古墳は目立つ存在であったはずで、1号墳の後円部墳丘は左右非対称で、東側が崩れたようになっています。発掘調査により、この形は築造当初からのものであることが分かっています。尾根という限られた土地で、多くの人々が行き交うところに面した西側部分を重点的に整えて造られたと推測できます。

古墳群の近くには、同時代の池子遺跡群や持田遺跡があります。相模湾沿いにも遺跡が点在し、三浦半島の先の横須賀市長井地区にも遺跡群があります。長柄桜山古墳群は、交通の要所であるこの地域が4世紀頃には既に発達し、人々の生活が活発に営まれていたことを示しているようです。

長柄桜山古墳群探訪記

四月、木の芽が顔を出し始め、山々が新緑の衣を纏った

季節、蘆花記念公園から郷土資料館を通って、長柄桜山古墳群を巡ってみました。



ふれあいロードに咲く
ホウチャクソウ

桜山にある郷土資料館脇の細道を抜けて、ハイキングコースのふれあいロードを進むと、逗子市と葉山町の境界をまたぐように2号墳が見えてきました。2号墳前方部からは眺望もよく、逗子の市街地や相模湾、晴れた日には富士山が一望できます。

この付近は、古東海道筋にあたる場所で、ヤマトから東国へ行くのに、相模から東京湾を渡り、上総から下総へと回るルートで、宝亀2年(771)以前の官道でした。

畿内方面から来て房総方面へ行くときの海上交通路である要衝へと古墳が築造されていることや、葺石を施し、しっかりとした畿内型の前方後円墳の形をしていることから、ここに葬られている人物は、大和政権とつながりのある、かなりの有力者であるという説があり、その当時に思いを馳せつつ、1号墳を目指します。



群生する
ウラシマソウ

2号墳を後にし、ウラシマソウが群生する尾根伝いのふれあいロードをさらに進みます。1号墳までの500mの道のりは、小鳥の囀りが心地よく聞こえ新緑の季節を愉しんでいるようです。

進行方向に向って右手が葉山町、左手が逗子市になります。1号墳も2号墳と同じく、前方部に着きます。前方部から後円部を見ると高低差が3.4mもあり、とても大きく立派な古墳であることがわかります。

1号墳は、平成26年度から本格的な遺構保存工事に着手しており、古墳全体をくまなく歩くことはまだできませんが、説明板や案内板の設置、園路の整備がされる予定となっております。逗子で発見



古墳周辺の地図

1号墳・2号墳の位置や向きが良くわかります

された県内最大級の古墳群を日常の生活の中で身近に感じることができ、学びや憩いの場所となることでしょう。

1号墳から25mほど階段を下るとすぐに葉桜住宅に到着し、ハイキングコースを下り帰途につきました。

アクセス

第1号墳へ

JR 逗子駅前バスのりば4番「葉桜」行約8分終点「葉桜」下車。葉桜住宅端の上り口まで西へ徒歩約6分。そこから階段を⁵分（高さ約25m）上る。

第2号墳へ

● 逗子側（2号墳西側）から
JR 逗子駅前バスのりば1番・3番「富士見橋」下車。蘆花公園内の上り口まで徒歩約5分。そこから階段路を¹⁰分（高さ90m）上る。

● 葉山側（2号墳南側）から
JR 逗子駅前バスのりば1番・2番から、「長柄交差点」下車。桜山トンネル脇の上り口まで徒歩約3分、そこから階段路を約¹⁰分（高さ90m）上る。
◎ 付近には駐車場はありません
◎ 最寄のトイレは蘆花記念公園内のみです。

—主な参考資料—

- 『シンポジウム 前期古墳を考える(記録集)』70.Zシ-2 逗子市教育委員会・葉山町教育委員会
- 『国指定史跡 長柄桜山古墳群第1号墳 発掘調査報告書2012』70.Zケ-12
- 『よみがえれ1600年!長柄桜山古墳群』70.Zヨ 長柄・桜山古墳をまもる会
- 『逗子一笑顔かがやく未来のまち ずし 市制60周年記念誌一』P.213.7ズ 逗子市
- 『長柄桜山古墳群—国指定史跡—』70.Zナ 逗子市教育委員会・葉山町教育委員会
- 『郷土史葉山 1,2,4,10』29.Hキ 葉山郷土史研究会
- 『武蔵と相模の古墳』21.Aム 広瀬和雄・池上悟編 雄山閣